

平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本化薬株式会社

コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島田 紘一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 経理部長 (氏名) 荒木 良一

TEL 03-3237-5270

四半期報告書提出予定日 平成21年10月9日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	33,573	△8.0	3,850	13.3	3,856	△12.5	2,057	45.4
21年5月期第1四半期	36,486	—	3,399	—	4,409	—	1,415	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第1四半期	11.34	11.32
21年5月期第1四半期	7.80	7.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	203,284	126,867	56.9	637.04
21年5月期	203,998	125,812	56.0	629.12

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 115,640百万円 21年5月期 114,206百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年5月期	—				
22年5月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	68,000	△8.1	7,000	3.7	7,000	22.9	3,500	94.9	19.28
連結累計期間									
通期	138,500	3.1	13,600	45.2	13,600	68.5	7,200	93.6	39.66

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年5月期第1四半期 | 182,503,570株 | 21年5月期 | 182,503,570株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第1四半期 | 977,039株 | 21年5月期 | 968,665株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年5月期第1四半期 | 181,528,881株 | 21年5月期第1四半期 | 181,610,640株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年6月30日に公表しました平成22年5月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、5ページの【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成21年6月1日から平成21年8月31日まで）のわが国経済は、世界同時不況に対する各国の景気刺激策の効果などにより、一部の業種において輸出を中心に需要が回復するなど、景気底打ちの兆しが見られますが、本格的な需要回復には至っておらず、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは販売品目の整理、最適な生産拠点など収益体質の強化を進めてまいりました。しかしながら、機能化学品事業及びセイフティシステムズ事業が属する電気・電子機器、半導体、自動車の産業における需要は回復基調にあるものの、前年同四半期と比べ低調に推移しました。

この結果、当第1四半期の売上高は、医薬事業が堅調に推移しましたが、機能化学品事業及びセイフティシステムズ事業が需要停滞の影響を受け、335億7千3百万円と前年同四半期に比べ29億1千2百万円(8.0%)減少しました。

営業利益は、医薬事業が堅調に推移し、38億5千万円と前年同四半期に比べ4億5千1百万円(13.3%)増加しました。

経常利益は、円高の影響を受け、38億5千6百万円と前年同四半期に比べ5億5千3百万円(12.5%)減少しました。

四半期純利益は、前年同四半期にあった関係会社株式評価損がなくなり、20億5千7百万円と前年同四半期に比べ6億4千2百万円(45.4%)増加しました。

当第1四半期の事業の種類別セグメント概況は、次のとおりです。

【機能化学品事業】

売上高は、155億7千万円と前年同四半期に比べ27億1千万円(14.8%)減少しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂が環境対応型エポキシ樹脂を中心に需要回復の基調にあるものの、前年同四半期の水準までには至りませんでした。紫外線硬化型樹脂は前年同四半期並みで推移しました。機能性材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

電子情報材料事業は、液晶シール材、プラズマディスプレイ用フィルムが前年同四半期を上回りましたが、光ディスク用樹脂、インクジェットプリンター用色素が前年同四半期を下回りました。(株)ボラテクノは自動車販売不振の影響により、車載向けの液晶ディスプレイ用偏光フィルムが低調に推移したため、前年同四半期を下回りました。電子情報材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、前年同四半期を上回りました。

色材事業は、市況の悪化により繊維用染料、紙用染料ともに需要が落ち込んだため、前年同四半期を下回りました。

機能化学品事業全体の営業利益は、16億9千1百万円となり、前年同四半期に比べ3億8千万円(18.4%)減少しました。

【医薬事業】

売上高は、123億2千9百万円と前年同四半期に比べ15億3千9百万円(14.3%)増加しました。

国内向け製剤は、「パクリタキセル注NK」（抗がん剤）、「オダイン錠」（抗がん剤）、「カルボプラチン点滴静注液NK」（抗がん剤）、「フェアストン錠」（抗がん剤）、「動注用アイエーコール」（抗がん剤）、「エピルピシン注射用NK」（抗がん剤）、「レボホリナート点滴静注用NK」（抗がん剤の効果増強剤）、「グラニセトロン静注液NK」（制吐剤）、「ジェルパート」（肝動脈塞栓材）が堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。一方、「ランダ注」（抗がん剤）、「ミリスロール注」（血管拡張剤）が競合品等の影響により、前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では前年同四半期を上回りました。

輸出は、ブレオ類（抗がん剤）が前年同四半期を上回りましたが、エトキシド類（抗がん剤）が前年同四半期を下回り、輸出全体で前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬は、ジェネリック医薬品原料が前年同四半期を下回り、国内向け原薬全体で前年同四半期を下回りました。

診断薬は「ラナザイムST-439プレート」（乳がん診断薬）、「ラナ1,5AG」（糖尿病診断薬）が堅調に推移し、診断薬全体で前年同四半期を上回りました。

医薬事業全体の営業利益は、30億4千万円となり、前年同四半期に比べ9億8千万円(47.6%)増加しました。

【セイフティシステムズ事業】

売上高は、40億2千3百万円と前年同四半期に比べ14億7千7百万円(26.9%)減少しました。

日本を含む世界各国で減税など自動車取得奨励策が施行され、昨年後半から急速に落ち込んだ市況が回復してきておりますが、前年同四半期と比べ自動車の生産・販売台数は低調に推移しました。

その影響を受け、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータは前年同四半期を下回りました。エアバッグ用インフレーターは搭載車種の増加により、前年同四半期を上回りました。

セイフティシステムズ事業全体の営業損益は、1億5千7百万円の損失となり、前年同四半期に比べ4億2千万円の減益となりました。

【その他事業】

売上高は、16億4千9百万円と前年同四半期に比べ2億6千4百万円(13.8%)減少しました。

アグロ事業は、国内・輸出ともに前年同四半期を下回りました。

不動産事業他は、前年同四半期を下回りました。

その他事業全体の営業利益は、アグロ事業の収益体質が改善したため、4億4千万円となり、前年同四半期に比べ1億7千万円(63.1%)増加しました。

当第1四半期における所在地別セグメントの概況は、次のとおりです。

【日本】

売上高は295億6百万円となり、前年同四半期に比べ6億2千6百万円(2.1%)減少しました。

営業利益は51億8百万円となり、前年同四半期に比べ12億5千7百万円(32.7%)増加しました。

【その他の地域】

売上高は40億6千7百万円となり、前年同四半期に比べ22億8千6百万円(36.0%)減少しました。

営業損益は8千5百万円の損失となり、前年同四半期に比べ8億9千3百万円減少しました。

これは、インデット セイフティ システムズ a.s. (チェコ)、ライフスパーク Inc. (アメリカ) 及びモクステック, Inc. (アメリカ) 等の売上高及び営業利益が減少したことによるものです。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は2,032億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1千3百万円減少しました。流動資産は9億7千1百万円減少しました。これは主に有価証券の減少等によるものです。固定資産は投資有価証券の評価額の増加等により2億2千4百万円増加しました。

負債は764億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億6千9百万円減少しました。これは主に法人税支払による未払法人税等の減少等によるものです。

純資産は1,268億6千7百万円で、前連結会計年度末に比べ10億5千5百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加、為替換算調整勘定の増加等によるものです。

また、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ32億2千4百万円減少し、318億3千7百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、13億5千万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が36億9千7百万円、減価償却費が24億1千6百万円あったものの、売上債権の増加が14億4千6百万円、未払費用の減少が13億2千3百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、40億9千3百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が22億9千7百万円、有価証券の取得による支出が14億9千9百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億8千3百万円の支出となりました。これは主に短期借入

金の増加が20億3千6百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が3億9千7百万円、建設協力金の返済による支出が2億4千6百万円、配当金の支払が17億2百万円あったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、前年同四半期に比べ厳しかったものの、医薬事業が堅調に推移し、また販売品目の整理、コストダウンなど収益力向上策の効果により、想定を上回る水準で推移しました。

第1四半期の実績及び第2四半期以降の見通しを勘案し、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を、前回発表(平成21年6月30日)の業績予想から変更しております。

詳細につきましては、本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,547	16,529
受取手形及び売掛金	45,533	44,008
有価証券	15,853	18,626
商品及び製品	15,249	15,031
仕掛品	1,673	1,554
原材料及び貯蔵品	6,898	6,917
その他	5,113	6,184
貸倒引当金	△110	△123
流動資産合計	107,758	108,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,912	32,568
機械装置及び運搬具(純額)	19,130	19,844
その他(純額)	14,947	15,145
有形固定資産合計	66,991	67,557
無形固定資産		
のれん	1,992	2,112
その他	2,813	2,906
無形固定資産合計	4,806	5,018
投資その他の資産		
投資有価証券	16,088	15,329
その他	7,300	7,058
貸倒引当金	△122	△124
投資その他の資産合計	23,267	22,264
固定資産合計	95,065	94,840
繰延資産	460	428
資産合計	203,284	203,998
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,099	12,201
短期借入金	14,852	13,304
未払法人税等	1,425	3,072
その他	10,480	13,192
流動負債合計	39,858	41,772
固定負債		
長期借入金	15,945	15,968
退職給付引当金	4,939	5,039
その他	15,674	15,406
固定負債合計	36,559	36,414
負債合計	76,417	78,186

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,263	17,263
利益剰余金	82,615	82,373
自己株式	△629	△623
株主資本合計	114,182	113,946
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	526	45
為替換算調整勘定	930	214
評価・換算差額等合計	1,457	260
少数株主持分	11,227	11,605
純資産合計	126,867	125,812
負債純資産合計	203,284	203,998

(2) 四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
売上高	36,486	33,573
売上原価	23,501	20,592
売上総利益	12,985	12,981
販売費及び一般管理費	9,585	9,130
営業利益	3,399	3,850
営業外収益		
受取利息	57	46
受取配当金	203	191
持分法による投資利益	91	21
為替差益	569	—
その他	350	195
営業外収益合計	1,273	456
営業外費用		
支払利息	118	127
為替差損	—	217
その他	145	105
営業外費用合計	263	450
経常利益	4,409	3,856
特別利益		
固定資産売却益	10	32
特別利益合計	10	32
特別損失		
固定資産処分損	276	79
投資有価証券評価損	—	112
貸倒引当金繰入額	8	—
関係会社株式評価損	2,028	—
たな卸資産評価損	505	—
特別損失合計	2,818	191
税金等調整前四半期純利益	1,601	3,697
法人税、住民税及び事業税	1,700	1,053
法人税等調整額	△1,207	725
法人税等合計	493	1,779
少数株主利益	△307	△139
四半期純利益	1,415	2,057

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,601	3,697
減価償却費	2,680	2,416
引当金の増減額 (△は減少)	266	△156
受取利息及び受取配当金	△261	△238
支払利息	118	127
持分法による投資損益 (△は益)	△91	△21
有形固定資産売却損益 (△は益)	△10	△32
有形固定資産処分損益 (△は益)	276	79
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	112
関係会社株式評価損	2,028	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,540	△1,446
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,944	△238
前払費用の増減額 (△は増加)	35	△153
未収入金の増減額 (△は増加)	1,029	490
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,402	875
未払金の増減額 (△は減少)	△616	△787
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,318	△1,323
その他	34	311
小計	3,690	3,713
利息及び配当金の受取額	244	240
利息の支払額	△56	△61
法人税等の支払額	△919	△2,542
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,959	1,350
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27	—
定期預金の払戻による収入	78	35
有形固定資産の取得による支出	△2,379	△2,297
有形固定資産の売却による収入	19	33
無形固定資産の取得による支出	△23	△36
有価証券の取得による支出	—	△1,499
投資有価証券の取得による支出	△961	△47
投資有価証券の売却による収入	506	—
長期貸付けによる支出	△10	—
長期前払費用の取得による支出	△17	△5
固定資産撤去に伴う支出	△84	△70
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△80	△125
その他	△75	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,055	△4,093
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,511	2,036
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△246	△397
建設協力金の返済による支出	△58	△246
配当金の支払額	△1,703	△1,702
少数株主への配当金の支払額	△305	△158
その他	△22	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	375	△483
現金及び現金同等物に係る換算差額	382	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	661	△3,224
現金及び現金同等物の期首残高	21,662	35,061
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	762	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,087	31,837

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成20年8月31日)

	機能化学品 事業 (百万円)	医薬 事業 (百万円)	セイフティ システムズ 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	18,281	10,790	5,500	1,914	36,486	—	36,486
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	0	—	3	23	(23)	—
計	18,301	10,790	5,500	1,917	36,510	(23)	36,486
営業利益	2,071	2,060	263	270	4,665	(1,266)	3,399

当第1四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

	機能化学品 事業 (百万円)	医薬 事業 (百万円)	セイフティ システムズ 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	15,570	12,329	4,023	1,649	33,573	—	33,573
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	3	—	6	25	(25)	—
計	15,585	12,333	4,023	1,656	33,599	(25)	33,573
営業利益又は営業損失(△)	1,691	3,040	△157	440	5,015	(1,165)	3,850

(注) 1 事業の区分は、売上集計区分によっております。

2 事業区分に属する主要な製品

事業区分	売上区分	主要製品
機能化学品事業	機能性材料	エポキシ樹脂、エポキシ樹脂用硬化剤、合成樹脂用難燃剤、紫外線硬化型樹脂、ポリイミド・ポリアミド樹脂、高機能化学品
	電子情報材料	液晶ディスプレイ用部材、液晶プロジェクタ用部材、X線分析装置部材、機能性フィルム、光ディスク用樹脂、液晶ディスプレイ用シール材、機能性色素、インクジェットプリンター用色素
	触媒	アクリル酸製造用触媒、メタクリル酸製造用触媒、プラントライセンスビジネス
	色材	分散染料、カチオン染料、酸性染料、反応染料、直接染料、硫化染料、蛍光染料、繊維・紙用機能性薬剤、非繊維用特殊色材
医薬事業	医薬品	抗悪性腫瘍剤、神経系薬剤、循環器用薬剤、消化器用薬剤、代謝性薬剤、抗生物質製剤、消炎鎮痛パップ剤、放射性医薬品、医療機器、医薬原薬・中間体、食品・食品添加物、食品品質保持剤、動物用医薬品、飼料・飼料添加物、診断薬
セイフティシステムズ事業	セイフティシステムズ事業	エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクログラスジェネレーター、スクイブ
その他事業	その他	殺虫剤、除草剤、殺菌剤、殺ダニ剤、防疫用殺虫剤、土壌殺菌剤、動物忌避剤、生物農薬、不動産事業

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)

	日本 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	30,133	6,353	36,486	—	36,486
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,737	2,088	3,825	(3,825)	—
計	31,870	8,441	40,312	(3,825)	36,486
営業利益	3,851	808	4,659	(1,259)	3,399

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	29,506	4,067	33,573	—	33,573
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,111	1,131	2,242	(2,242)	—
計	30,617	5,198	35,816	(2,242)	33,573
営業利益又は営業損失(△)	5,108	△85	5,022	(1,172)	3,850

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域
その他の地域・・・アメリカ、中国、チェコ

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	6,795	5,961	12,756
II 連結売上高(百万円)	—	—	36,486
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	18.6	16.3	35.0

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	7,134	4,046	11,180
II 連結売上高(百万円)	—	—	33,573
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	21.3	12.1	33.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域
(1) アジア・・・中国、香港、台湾
(2) その他の地域・・・アメリカ、ドイツ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。